

# アコースティックギタリスト ゆあさまさや

## 帯広凱旋ライブ2022~Departure~

2022年6月30日(木)

①15:00~15:30 ②16:30~17:00

道の駅おとふけ なつぞらのふる里  
観覧無料

(17) 2018年(平成30年)6月30日(土曜日) (第3種郵便物認可) 十勝毎日新聞

## ALL ABOUT

「All about」とは「何かに関わることすべて」。アニメやネット、インディーズ音楽などさまざまな話題を紹介していきます。

中学校(帯広第一中)の3年間が帯広在住時代と重なる、フィンガースタイル・ギタリストのゆあさまさやさん。まるで手品を見ているような錯覚を楽しめるパフォーマンスで聴衆を魅了し、日本だけでなく海外から招致されるなど注目のアーティスト。7月3日に帯広市内の書店「岡書 帯広イーストモール店」で、帯広で初となる凱旋(かいせん)ライブを行う。ゆあさまさんに、帯広での思い出やライブへの意気込みなどを聞いた。(藤島諒司)

— 中学時代3年間を帯広で過ごした思い出を。

テレビで見た吉川晃司さんをきっかけに音楽が好きになり、掃除中にホウキをギターに見立てて弾くまねをするほどに、音楽にはまりました。

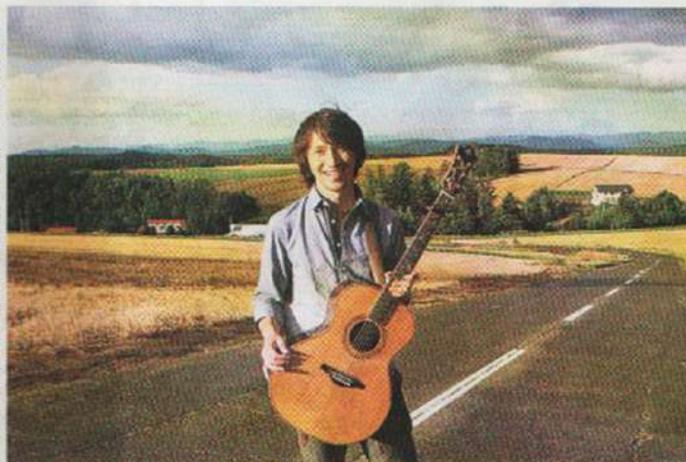
中学校の近くを流れる十勝川の河川敷が大好きでした。それと、十勝沼というフナが釣れる沼があり、よく釣りに行っていました。函館に引っ越す直前に埋め立てられて、悲しい思い出があります。音楽好きだったので、駅前の玉光堂、藤丸に入っていた国原、WAVEに通っていました。

— 子どもの頃の夢や今のギタリストに至る道のり、現在の活動について教えてください。

高校生の頃には、ミュージシャンになることが夢になり、音楽系の専門学校へ進学することを希望。しかし、親の反対を押し切る力はなく断念し、技術系の大学を経て、研究職(雪の研究

## ギタリスト ゆあさまさやさん

岡書で初の凱旋ライブを行う帯広第一中出身のゆあさまさやさん



ゆあさまさや 小樽で生まれ、札幌、帯広、函館と北の大地で育った。現在京都在住。ピックなどを使わず、指先と爪で弾くフィンガースタイルで、前衛的な演奏パフォーマンスと、メロディを大切にした楽曲が持ち味。テレビやラジオ、映画にも出演。演奏本数は年間250本以上。2月には台湾で初の海外ライブを実施した。毎月開催している自主企画ライブはすべて演目。

## 手品のようなステージ

— 自身の持ち味、ライブの見どころは。

来月3日帯広凱旋ライブ

2018年6月30日

十勝毎日新聞